

S えーっとそれはまだしておりません。

質問 それはなぜですか？

S とりあえずベトナムから来る飛行機ですね、あの、それがいまのところ成田と関西空港ということですので、そこにベトナムから帰ってくる航空機についてのパッセンジャーリストを作ってますので、一応それでカバーはできていると思っております。

質問 ベトナムからどこかを經由して入ってくる可能性がもちろんあると思うんですが、そこに漏れが出るんじゃないか、それについてはどうされるのかということが一つ。もう一つですが、要はいま H5N1 である可能性が非常に高く、ベトナムでもそういう可能性が高いと言われている中、この方はいま現在検査中とはいえその可能性が高い中、N1 であるかどうかという検査結果を待ってから対応を始めるのでは遅くなりませんか？

S あのまず、あの、ベトナムからトランジットで他の空港経由で来た人の、少なくともベトナムから日本に到着する飛行機は全て捕まえてパッセンジャーリストを作ろうと思ってますので、漏れはないと思っております。ただ、対応ぶりについては、まだあのう、この方がそういったヒト-ヒト感染を起こすかどうか全くわからない段階ですので、いまできることは、まあベストを尽くしてやりますから、現段階ではいまやっていることが我々がはベストだと思っております。

質問 検査結果は一般的にどれくらい時間がかかるんですか？

S えーと、すいません、それはちょっと私も勉強不足で知りません。

質問 そうですか。それはすぐわかりますか？ もしそれがわかるなら終わってからちょっといただきたいのですが。

S あ、わかりました。

質問 パッセンジャーリストはいま刻々とできつつあるわけですね。確認ですが、いまのところはリストを作るのみで終わり、人が確認された段階でその方たちにアプローチするということですね。たぶん何百人という数になると思うんですが、そのときこの人たちにはどういうアプローチをするんですか？

S あのう、まあ一時的にはとにかく検疫所が職員全員で、というか、あー、成田と関西空港の検疫所の職員が手分けをしてこうした方々に連絡をとることになると思います。

質問 電話をしていくとか？

S そうですね。

質問 全員に対して？

S はい。

質問 これはヒトーヒトにならないとやらないわけですか？ いまの段階ではやらない？

S うーん、いまの段階では、まあ、やる段階じゃないと思ってます。

質問 ヒトーヒトである可能性が否定しきれないこの状況下、やはり一人一人にはやらないということですか？

S はい、いまの段階ではまだやりません。

質問 その前に感染者が出たらどのように責任をとられますか？

S うーん、まだわからない段階ですので、現段階ではリストを調べるところまでがベストの方法かと思います。

質問 それで患者が爆発的に広がった場合、厚労省は責任とれるんですか？

S うーん……そこはちょっとよくわかりませんが、いま、いまやれることはこのリストを作ることだと思っています。

質問 リストを作って一人一人に電話することはできることじゃないですか。ヒトーヒトがわかってから電話することはできるんですよね？ であればいまからでも一人一人に連絡をして、少なくとも健康調査をしてくださいなどと伝えるのはいまできることじゃないですか。

S ……うーん、いや、まだ本当にヒトーヒトになるかどうかというのはわかりませんが、現段階ではやっていることはこれがベストだと思います。

質問 しかしベトナムを見ているとヒトーヒトの可能性はありそうじゃないですか？ まだ人数は増えていきますし、全員が鳥と接触したとは思えませんし。それを考えてももうヒトーヒトが見えてきている状況でそういうことでいいんですかね？

S あのう、まあ、得られた情報で最善の判断をしていくというのが我々の仕事ですので、

質問 そのとおりですけど、

S いま得られている情報で出している判断、いまやっていることがベストだと思っています。

質問 報道機関のある記者が患者さんをアイソレーターで運んだのを見ているんです。そ

のへんはどうなんでしょう、ヒトーヒト感染の可能性があるかないかわからないとおっしゃっていますけれども、アイソレーターで運びます？

S ……

質問 可能性があるので運んでいるんじゃないんですか？!

S ……………あのう……そこはちょっと私もわかりませんが（笑）、えーっと、少なくともいまの段階でヒトーヒト感染だということを前提で調査をしたり情報提供をしたりというのはまだ時期尚早だと思っています。

質問 全く可能性のない人をアイソレーターで運びませんか？

S ……………

質問 可能性があるのでアイソレーターで運んでいるわけで。それだったらヒトからヒトへの感染があるということを前提にした対策が必要じゃないんでしょうか？ 私はそう思いますが、お考えは？

S まあ、患者さんの可能性をどう捉えるかになると思いますけど、私どもがいま得られた情報では判断するところでは、いまの段階ではそういったパッセンジャーの方に対して情報提供したりというのはまだ早いんじゃないか、と。検査結果が出てから対応したいと考えております。

質問 早く動いて何が問題なんですか？!

S ん……

質問 だって、遅かったらもう致命傷なわけでしょう？ いまのうちに動いて何が問題なんですか？

S 早く対応をとることについてはもちろん大事なことでありますけれど、おー、私どもとしてはその結果が出た段階で速やかに対応しようと思っています。

質問 だから、何でそこまで待たないといけないんですか！

S ……あの、速やかに対応しようと思います。

質問 だいたいアレですよ！ 成田から住んでいるところまで、立川ですか、いまのところわかっているのは。その間にどこを通ったかもどうしてわからないんですか？

S まああの、東京都が調査をしているところです。

質問 そりゃあ国として無責任じゃないんですか？

S いや、いま東京都が調査をしておりますので、その調査結果がただちに厚生労働省に入ることになっています。

質問 東京都以外からそういう情報を得るような方策はお持ちじゃないんですか？ 東京都でないと病院や患者のほうに連絡がとれないような状況なんですか？ そこからでないルートがないということなんですか？ どうして厚労省から直接そういうお話をされないんでしょうか？ それによって後手後手に回りますよね、そこはどうするんですか？ ルートは全くないんですか？

S あおう、いま東京都が調査しておりますので、私どもは、

質問 いや、平行に動くこともできるわけじゃないですか、なぜ待っているんですか、という話です。

S ……あおう……いまやれることは、東京都がそうやって調査をするということがベストだと思いますから、その結果を待ちたいと思います。

質問 厚労省がそういう調査をすることによるデメリットというのがあるんですか？

S ……

質問 ベストではないんですか？ なぜベストではないんですか？ なぜそう言い切れるんですか？

S メリットデメリットはわかりませんが、いま現在東京都がしっかり調査をしておりますので、私どもはその結果を待ちたいと思います。

質問 しっかりやっているわりには全く情報が集まってませんよね。そこは国としてきちんとルートを持って調査をしていくべきじゃないんですか？

S あー、東京都が責任をもって調査をしておりますので、私どもはその結果を待ちたいと思います。

質問 厚労省のホームページですよ、「初期に対応すれば患者の数が抑えられる」とあるのは。そして「失敗したら何十万人も死ぬ」と書いてあるのは厚労省のホームページですよ。なのにいまの答はとても真面目に動いているとは思えないですよ、そんなの。

S ……

質問 もうちょっと別の答えがあっただいじゃないですか？

S あおう、繰り返しですけど、東京都がいま全力で調査をしておりますので、私どもはその結果を待ちたいと思います。

質問 他の自治体からもこういった情報は入ってきていないんですか？

S まだ特にありません。

質問 特にない。

S はい。

質問 ではこんなところで終えたいと思います。次に情報が入り次第お願いします。

S はい。

(R2-1 終了)

R-2 S氏 その2

S 昨日ご報告いたしました H5 インフルエンザ患者について、さらなる情報が入りましたのでお伝えしたいと思います。

えー、昨日の患者さんですけれど、国立感染症研究所にも検体を送りまして、確定検査を行ないました。その結果、H5N1 陽性が確認されました。

それから、ベトナムの、あ、失礼しました、えーっと、他の情報ですけれど、まあベトナム関係ですが、パッセンジャーリストについて現段階で日本人旅行客が約 800 名に及ぶことが判明いたしました。

それから、えーっと、先ほど申し上げました患者さんについて、ベトナムでの行動でありますけれど、ベトナム滞在中は工場の視察を行なわれたようです。で、その際に同行した現地ベトナム人の中に発熱・咳等で体調不良を訴えた方がいらっしゃったようです。その方はインフルエンザ様の症状を呈して、現地の病院を受診されております。で、現在検査を行なっており、その結果を待っているところであります。

それから、あー、この患者さんには日本から同行者がお二人いらっしゃいました。お二人の健康状況を確認したところ、お一方は全く症状がないことを確認しておりますが、もう一方については昨夜から発熱が続いているとのことで、都内の病院を受診されているとのことです。詳細については現在確認中であります。

それから、ちょっと行ったり来たりしますが、先ほどの患者さんですけれど、えー、現在の治療として抗インフルエンザ剤、これはタミフルを投与されております。その他

輸液とか人工呼吸器等による治療を開始しておりますが、容体は昨晚より悪化しているとのことであります。

それから、あー、家族とか、それから最初に受診した医療機関の同室者、えー、あと病院関係者には現在のところインフルエンザ様の症状を呈する方はいらっしゃらない、と。迅速キットでもマイナスであるとのことであります。引き続き東京都が調査を継続しているとのことです。

それから、今回のベトナムの件について WHO はまだフェーズ 4 の宣言はしていないとの情報であります。

以上です。

幹事社 ではいくつか質問させていただきます。患者さんはベトナム帰りで工場を視察されていた。工場というのはどういう工場だったのでしょうか？

S えーっと、繊維関係の工場だと聞いております。

幹事社 繊維関係ということはそこには鳥であるとかそういうものはいないということですか。

S そうですね、少なくとも鳥の工場ではないです。

幹事社 ではその患者さんは少なくともベトナムでは鳥との接触はないということでしょうか？

S いまのところ先ほど申し上げた以上の情報が入ってきておりませんので、他に鳥と接触があったかどうかというのは現在のところわかりません。

幹事社 同行したベトナム人の方は発熱している。これは時期としては同じくらいと考えてよろしいんですか？

S えーと……そうですね、同行したときに発熱・咳等で体調不良を訴えた方がいた、と。

幹事社 ああ、じゃあ先に？

S ということですので。

幹事社 この方のほうが先に発熱していたということですね？

S えーと、そうですね、はい。

幹事社 日本の患者は日本に帰ってきてから調子が悪くなったんですよね？

S そうですね、そうですね、はい。

幹事社 じゃあこの人から感染した可能性というのも否定しきれないということですか？

S ……はい、それは否定はできないと思います。

幹事社 確認ですが、ご家族やその他の方皆さん症状は出ていないそうですが、そういう方に対して検査などはされているんですか？ 通常はするんですか？

S 家族・同室社に対しては……アー、検査は迅速キットでの検査は行なっております。それはマイナスだったとのことであります。その他については現在、あの方、調査を継続中とのことであります。

幹事社 では他にありますでしょうか。

質問 いまお話にあった迅速キットはマイナスだったということなんですけれども、家族、同室者、関係者というのは濃厚接触者ということになると思います。その方々は現在何をされているのか。あと、この50才の男性に同行されていた2人はベトナムの方とももちろん同行していたということになると思います。そのうちの一人は病院で受診中ということですが、これは入院中なのかということが一点。もう一つは、インフルエンザの症状がないという一人は現在どういう状況なのか。その3点お願いします。

S はい。えーと、家族とか同室者等についてはいま私が入手している情報ではまだ調査を継続中とのことでありますので、それ以上の情報は入ってきておりません。

質問 調査というのは、何を調査しているんですか？

S えーと……、ま、そこですね（笑）、ちょっと私の持っている情報では入ってきておりませんのでわかりません。

それから、入院中……すいません、ちょっと聞き漏らしてしまいました。もう二つは？

質問 同行した方が2名いたということですが、この2人のうち一人はマイナスということですが、その人は現状どうしているのか。また、症状がプラスの方は昨晚都内の病院を受診中ということですが、この方はいまどうなっているのか。入院しているのか家に帰ったのか、そういうふうなことです。

S はい。症状のない方については、あー……、症状がないことは確認しておりますけれどもそれ以上の情報は入ってきておりません。それからもう一方の症状のある方については、病院を受診したということのみが情報として入ってきております。詳細については現在確認中であります。

質問 ということは現在入院しているかどうかもわからないということですね？

S はい、そうです。

質問 同行した人が H5N1 に感染している可能性があるということで受診しているわけですよ？ そういう場合、入院等々はさせないんですか？ 可能性があるということで入院の奨励というんでしょうか、させないんでしょうか？

S そうですね、あの、一般的に何らかの症状があって入院が必要であればもちろん入院はしていただくことになりますけれど、あの、ちょっと（笑）、この段階ではどういうふうな、発熱が続いているというだけの情報ですので、あのう、本当に入院させなければいけないような状況なのかというのはいまのところ私のほうには情報が入ってきておりません、わかりません。

質問 ただ、H5N1 に感染する可能性が非常に高いという場合において、自宅に帰すということはあるんですか？

S えーっと、いま私が入っている情報からはちょっとそこはどうかはわかりません。

質問 一般的にはどうなんですか、感染している可能性がある、発熱している、そういう場合にはどうなんですか？

S あのう、H5N1 ということであればですね、まああの、指定感染症になりますので、まあ入院をさせることになると思います。

質問 ですよ。この段階で H5 である可能性が非常に高いのに帰したという可能性があるということですよ。通常、病院等にそういう指導はされていないんですか、厚労省でも都でもけっこうですが、そういう指導は医療機関にしていないんですか？

S H5N1 という指定感染症の場合は入院が必要です、という情報提供は各医療機関にしておりますけれども、この方はまだそういう段階かどうかはわかりませんので、えー、あと、いま私のところにはどういう対応をとっているかということは情報として入ってきておりません。

質問 でも濃厚接触者ですよ、この方。それでも自宅に帰しちゃう可能性があるということですか？

S あのう、繰り返しますが、いま私のところにはそういう状況、それ以上の情報は入ってきておりませんのでわかりません。

質問 それは、先ほども言いましたが、厚労省からは確認できないんですか？ 都からでないと確認できないんですか？

S あのう、一応いま東京都が対応していますので、東京都を通じて情報を提供してもらおうと思います。

質問 今回、ヒトーヒト感染の可能性はありますか？

S ……

質問 どうですか？

S ん、まだわかりません。

質問 これ、もし仮にヒトーヒト感染だった場合、今後患者から一般の人に広がる可能性があると思うんですが、その場合被害はどれくらいを見込んでいるんですか？

S ああ、それは全くわかりません。

質問 じゃあそれに対する対策は？

S ……んあの、ヒトーヒト感染だということであれば、あー、法律に基づいてしかるべき対策はとるつもりです。

質問 具体的にどういう対策をとるんですか？

S たとえば、もしヒトーヒト感染であれば、昨年策定しました計画に基づいて、たとえば入院措置をとるとかあるいは情報提供をするとか、さまざまな対策をとるつもりです。

質問 それは感染がわかってから初めてとるわけですか？

S ……あもう、まだヒトーヒト感染かどうかは全くわかりませんので、現段階では、アー、情報収集に努めるというのがいまやるべきことだと思います。

質問 確認ですが、把握していないということですが、濃厚接触者、特に家族の方。同室の方はまあ入院しているのでけっこうだと思いますが、医療関係者の方々についても通常は観察監視下に置かれるということになると思うんです。その方々は通常業務に当たっているんですか？

S えーっと、そうした情報についてはいまのところ私のところには入ってきておりません。

質問 では、その医療機関のほうに確認してもよろしいですね？

S ……んっと、それは誰？ 私がですか？

質問 いや、私のほうで確認させていただきます。

S まああの……

質問 都のほうではわかっている可能性はありますか？

S えーとー、そこはちょっとわかりません。

質問 わかりました。

質問 先ほどから「わかりません」という状況で、いま現在わかりませんというのはわかりますけれども、「通常こうする」といった決まりとか、いままでこうしてきたというガイドラインといったものはなかったんですか？

S はい、いまのところはガイドラインというのは、いま作成中ですがけれども、できておりません。

質問 なるほど。でも入院させるとかそういった判断等は病院や都の判断でやっているということですか？

S はい、はい。

質問 あとは厚労省としては報告を受けるのみ？

S まあ、報告を受けながら適宜助言はしていくつもりであります。

質問 今回の場合なら、まだ発症していないが、という方に対しては本当はどういう処置をすべきだと思いますか？

S ……えーっと、まあこの方がですね、えー、まあ、一応いま現在症状がない方について特にかなり濃厚に接触した方については、あー、一応監視下に置いて、まあ、症状が出るか出ないかとかですね、そういったことは注意深く見ていく必要があると思います。

質問 監視下、というのは、やはり入院してもらうということ？

S いや、入院まではいわないと思います。

質問 すると監視というのはどういうふうに？

S たとえばご自宅で、まあ、自分で症状が出るか出ないかというのはご自身でわかりますので、あのう、そういったことをご自分で気をつけていただいて、何かあればご連絡いただくということです。

質問 ああ、じゃあ監視下というのは自分で監視するという意味での監視下？

S あの、通常は保健所がですね、あのう、まあ、ときどき訪問するなり、あるいはお電話していただいたりして情報を入手して、ということになります。

質問 いま発症していない方でウイルスを持っている可能性がある人ということですよね、同行者の一人というのは。そういう場合にまだ発症していないけれども誰か他の人にウイルスを移す可能性というのはあるんですか？

S あのう、まあ、ヒトーヒト感染が起きるかどうか（笑）がまだわからない段階です。で何とも言えませんけれど、あのう……まあ仮にそういう可能性があるということであれば、その方に対しては、あー、できるだけ人との接触を避けるようにとかですね、そういう注意はすると思います。

質問 いまそういうことをやっている可能性はあるということですね？

S うーん、まあそれはちょっと情報が入ってきてませんので、

質問 わからない。

S わかりません。

質問 はい。

質問 最初の患者さんなんですが、仮にヒトーヒト感染があった場合、病院に行く途中いろいろな人に出会ったと思うんですが、その人たちに感染する可能性というのはあるんですか？

S あの、もしこれがヒトーヒト感染を起こすのであればもちろん第三者に感染させる可能性は否定できません。

質問 どういう状況になった場合にヒトーヒト感染ということになるんですか？

S ……あのう……、まずベトナムですね、向こうに滞在中に同行者がインフルエンザ様の症状を呈して医療機関を受診されている、と、なおかつ検査の結果を待っているということですから、その方が仮に鳥の、鳥のじゃないか、新型のインフルエンザ、ごめんなさい、H5N1 のインフルエンザということであればですね、まあかなりの蓋然性が高くなりますので、えー、その段階でヒトからヒトへの感染の可能性があったんではないかということになると思います。

質問 検査の結果はいつ出ますか？

S えー、それはあのう、わかりません。現時点ではまだ不明であります。

質問 通常どれくらいかかるんでしょう？

S えー、それはちょっとわかりません。

質問 現地で同行したベトナムの方がいま検査中だというのは、その方から出てきたウイルスの形がその 50 才の、すでに H5N1 に罹っている方の細胞というか、構成と全く一緒だった場合はヒト-ヒトの感染ということになるんですか？

S あのう、もちろん他の可能性はある、この方がですね、まあ鳥の養鶏場に他に行ったとか別の情報が入ってくればまたそれは別途検討しなければいけませんが、まあそういったことも含めていろいろ情報を集めてですね、やはり可能性としてその、接触、この同行者ですね、もし仮に結果的に H5N1 であればその方とのみの接触があったということであれば、限りなくヒト-ヒト感染の可能性は高くなると思います。

質問 ヒト-ヒト感染があると仮定して、最初の患者さんが通った電車なのかバスなのか、そこをそのまま何も呼びかけせずに放置しておいた場合どれくらいの患者が発生すると考えられますか？

S あの、そういった推測は現段階ではできません。

質問 推測さえできないんですか？

S 推測、は、できないと思います。

質問 その理由は何ですか？

S まず、この方がどういう行動をとったかというのを調査する必要がありますので、そういった情報が入ってきておりませんので、推測はできません。

質問 仮に電車の中で接触した人が患者になって爆発的に患者が増えた場合、どういうふうに対策をとられますか？

S ……あのう……もちろん患者さんが増えればですね、医療機関受診を強力に進めていきますし、一般の国民の方にも情報提供していきますし、えー、まあ法律に基づくさまざまな措置を講ずることになります。

質問 それは勧めるだけですか？

S ……はい。

質問 だいたいいまタミフルがいちばんの特効薬と言われてはいますが、備蓄は大丈夫なんでしょうか？ こんなに対応が後手に回っていますけど。

S ……あのう、まあ、タミフルの備蓄も順次やっておりますので、えー、使う必要があればあのう、速やかに、使っていくことになります。

質問 質問の意図としては、今回このように対策をとらずヒト－ヒト感染がわかるまで放置しておいたとして、国民に新型インフルエンザが蔓延した場合、厚労省としてきちんと対策がとれるだけの準備がすでにされているかということをお聞きしたいんですけど。

S ……あのう、いまある情報の中でいまやれるベストなことをいま取り組んでいるところです。

質問 備蓄っていま何人分進んでいるんですか？

S えーっと、すみません、いま手許に資料がありませんので、あとでお伝えしたいと思います。

質問 その保証もないのに放っておいて大丈夫なんですか？

S ……えーっと、私どもはいまやれるベストなことを全力で取り組むだけです。

質問 ぜんぜんベストに思えないんですけどね。

S ……………

質問 患者さんの飛行機と同乗者リストというのは手に入ったんでしょうか？

S ……えーっとですね、あのう、全部ではありません。あのう、先ほど申し上げましたように日本人旅行客約 800 人いるということだけは判明しております。ただまだ、全てのリストが入ったわけではないようです。

質問 その日本人 800 名への何らかの対応策というのはどうなっているんでしょうか？

S えーっと、まだ具体的にこうするというのは考えておりません。

質問 注意喚起等々も全くしていないということですね、考えていないということですね？

S あのう、選択肢の一つにあると思います。それを検討しているところです。

質問 注意喚起はどの段階で始められるんですか？

S はい、それも合わせて検討しております。

質問 それと、50才代のH5N1に罹った方の件ですが、いま症状が悪化しているということですが、実際に効いていないと考えてよろしいんですか？ いまタミフルを使っているということなんですか？

S えーっと、そこの判断はちょっといまある情報ではできないと思います、はい。まあいまのところはとにかく使ってはいるけれど、容体は少なくとも昨晚よりは悪化しているという情報を得ております。

質問 どうなんですかね、タミフルは48時間以内に使えばかなり効用があるということを知っているんですが、そのあとに使うと効かないということは考えられるんですか？

S あのう、私の知っているかぎりでは48時間以内に使うと効きやすいということは聞いてますが、それ以降だと全く効かないということはまだわかりません。

質問 ワクチンの開発ですが、これはいま進めているんですか？

S ワクチンについてはちょっと担当部署が違いますけれど、いま研究は進めているところですよ。

質問 こういう状況になってようやく始まったということですか？ H5N1が確定された段階からスタートしているのか、元々スタートしていたものなのか？

S 元々ワクチンを作る基盤みたいなものはすでに取りかかってまして、もちろん現段階でウイルスそのものがなければワクチンは開発しようがありませんので、そういうものが確定されればですね、その段階から、元々の基盤の上にワクチン開発を進めることになります。

質問 すると今回50才代の男性から出てきたわけですから、この段階からスタートできるものではないんですか？

S あのう、それはヒト-ヒト感染だ（笑）となったらもちろんこのウイルスを使ってワクチン開発を進めることになります。

質問 なるほど。仮にワクチン開発をしようとするのとどれくらい時間がかかるものなんですか、完成まで。

S ああ、期間についてはすいません、私も、あのう、担当課に聞いてあとでお答えしようと思います。

質問 けっこう時間かかりますか？

S いや、わかりません。

質問 1か月レベルで作れるのか、1年レベルなのか、それもわかりませんか？

S あの、1か月ぐらいではできないと思います。

質問 すると仮にヒトーヒトになった場合、いまの段階だとあっと言う間にヒトーヒトになっていくかもしれませんよね？ ワクチン開発に時間がかかるにも拘わらず、やはりそれを待って開発をようやく始めるということですか？

S あのう、いまやっていることは、仮にそういうウイルスが現われたときにただちに開発できるように、という基盤づくりをしています。えー、けっして何か後れをとっているわけではないと思います。

質問 いまこの方がヒトーヒトになっているかどうかはわからないので、その人のウイルスを使ってワクチンを作ってもあまり意味がない、ということですか？ それともまだ単にヒトーヒトになっていないから作らない？

S あの、両方の意味がありますけれど、あのう、何ですか、ウイルスが同定されないかぎりワクチン開発はできません。ただ、あの、同定された段階でゼロからスタートでは後れをとりますので、いまのうちから基盤を作っておく、と。そのウイルスが同定されたらすぐにでも開発できるように、という準備はしているところです。

質問 ほう、ではいま同定はされていないということ？

S いまはまだわかりません。

質問 まだわかりませんか。この人がヒトーヒトでないからわからないということ？

S そういうことですね。

質問 この人がヒトーヒトかどうかというのもわからないんですよね？ 誰かに移したかどうかというのもわからないわけですよね？

S はい。

幹事社 ではその可能性があるにも拘わらず？ ないわけじゃないでしょう？ とにかくワクチンは時間がかかるわけですから早め早めに作っておいて損はないのでは、と思うんですが、そこはヒトーヒトになってからあくまでも開発、ということですね？

S そうですね、はい。

質問 「こういう症状のある人は病院を受診したほうがよい」とか、何かポイントとなるようなところがありますか？ まあ、ベトナムに渡航したというのが一つありますが、他にありますか？ ベトナムへも何日前に、というのがありますね、そういうのをちょっと教えてもらいたいんですけど。

S えーっとですね……あのう、いまの、いまの段階ではですね、一般国民に対して何か特別に気をつけなさいというようなことを情報提供する必要はないと思います。

質問 なぜですか？

S まああの、まだこれがヒトからヒトへ移るものかどうかというのはまだわからないからです。

質問 いまパッセンジャーリストが 800 人分あるわけですが、これが全てかどうかはわからないし、日本人以外でベトナムから日本に入ってきた人がいる中で、そういう人たちに対して全く「このくらいの熱があったら病院に」「こういう症状があったら病院を受診してほしい」「保健所に相談しろ」などの規準等も全くないわけですか？ そういう注意喚起をする必要性はないとお考えですか？

S あの、いまの段階で入ってきている情報を元にはできませんけれど、もちろんこうした 800 名の方ですとか、あるいは他の飛行機で入ってきた方とか、ある程度同定することができますので、そういった方々に対する情報提供はただちにやりたいと思います。逆に、一般国民に対してはいたずらに不安を煽るような情報提供はする必要はないかな、と思っています。

質問 ただ、先ほど日本人 800 人に対していつから情報提供や注意喚起をするか決めていない、とおっしゃったじゃないですか。その情報が行かないかぎりは多少の熱があっても病院を受診するという事は。特に海外から来た人は要するに異国の地に来ているわけですから、そういう人たちが病院を受診することは限りなく少ないと思うんですね。そういう方々はまだ不特定だし、そういう方々に対しては全く情報提供なされないわけじゃないですか。そういう方々に全く注意喚起ができないということになると、現段階ではまだ H5N1 かどうかわからない、ヒトーヒトかどうかわからないと言いつつも、そういう方々をそのまま放置するとそれがどんどん広がっていくわけですよ。それに対して何の予防策もない、そういうことですよ？ 何かないんですか？

S あの、現段階で得られている情報からやれることを考えようと思ってますので。いまの段階ではそうしたことまでやる必要はないと思います。で、さらなる情報が入れば必要に応じて一般国民の方に情報提供をしようと思ってます。

質問 たとえば、海外渡航者が38度の熱があつて病院を受診したという場合、そこから他にいろいろ当たっていく、トレースをするという形なんですか？

S あの、いま海外渡航者とおっしゃいましたが、海外渡航者はたくさんいらっしゃいますので。今回のケースであれば少なくともベトナムとかですね、それからまだ確認されてますけどベトナムの中のどこか、とかですね、そういう情報が入ってくればそういうところをきちんと同定しながら適切な情報提供をしていくことになると思います。

質問 すいません、我々はこの事態を非常事態だと捉えているんですよね。H5N1型は国内で発症したのは初めてですよね。それにも拘わらず、「同行者の検査結果が出るのを待つ」だとか。もしかしてH5N1がこれからでたら何千万人も死んじゃうかもしれないという事態ですよね、ヒトーヒト感染で。そういう事態なのに何も対応策もない、いま示せないというのはどういうことなのでしょう。省内で何か対策本部とかないんですか？

S あのう、先のレクのときに申し上げましたが、対策本部はもうすでに官邸主導で立ち上がっております。

質問 対策本部で何をやってるんですか？

S それから、こういう件で一番大事なのは、あの、とにかくパニックにならない。冷静に対応していくということが大切の一です。

質問 パニックにならなくても死んじゃったら意味ないじゃないですか。

質問 対策本部の代表者、呼んでみてください。どなたですか？

S まだヒトーヒト感染かどうか分からない段階ですので、えー、我々は冷静に対応していこうと思っています。

質問 仮に死者が出て災害になって、行政の不作为ということになったら誰が責任者なんですか？!

S ……それはわかりません。我々はいま、あー、出ている情報でベストの方策をとっていこうと、

質問 誰が責任持ってやっているんですか、その会議？

S ……我々は、いまやれることをやっていきます。

質問 我々、って誰なんですか？

S 厚生労働省です。

幹事社 よろしいですか。ではこんなもので。

以上

大臣官房 U参事官

2006年5月16日

U 健康局参事官新型インフルエンザ報道担当の梅田でございます。

本日は国内における H5 インフルエンザ患者の発生についてご説明させていただきまして、ちょっとそのあと皆さまにお願いがございまして、今日このような場を設定させていただきまして。よろしく願いをいたします。

えー、まずあの、お手許にあります資料のように、本日午後 7 時 30 分、日本国内におきまして H5 のインフルエンザ患者が発生した旨の届出がございました。以下の通りでございます。

患者はここにありますように 50 才の男性で東京都在住、診断名は H5 のインフルエンザということで、まだ N についてはあの、確定しておりません。

経緯でございますが、えーと、まあ、7 月 1 日に都内の医療期間を受診した、と。それでこれは 5 番にございますようにベトナムへ渡航して戻ってこられまして、えー、その後あの、この経緯にございますように熱、咳があったということで、都内の医療機関を受診されました。それで、受診されてその肺炎の病像があり、そこで迅速診断でインフルエンザ A 型ということが確認されましたので、現在感染症の指定医療機関に転院しまして入院加療中でございます。

検査結果でございますが、ここにございますように、インフルエンザ A 型については簡易診断キットでプラスになった、と。で PCR 検査につきましては H5 がプラス、N は現在検査中でございます。

接触者等の状況です、接触のあった家族の方は現在インフルエンザ様症状はないということ、で、その他の接触者について現在調査中ということでございます。

それで、一つ皆様をお願いしたいことがございまして。あの、この方 H5 ということでございまして、まあこれが鳥インフルエンザであるのか、そのヒトからヒトへ移りうる新型インフルエンザに変わったものであるかということは現在のところ全くわかっておりません。これはあの、その、疫学的な調査、この患者さんから他の患者さんへどう移るか、移っていくかというようなことを確かめなければなりません、あの、そのためにも、またこの患者さんのそばにおられた方に対して注意喚起をしたいと考えております。この方、7 月 1 日にベトナムへ（発言ママ）戻ってこられたということで、これはまた後ほどご提示いたしますけれども、ベトナムへ（発言ママ）戻ってこられ、その、航空機に同乗された方、またその航空機から、この方は成田から立川のほうへリムジンバスで帰っておられます、そのリムジンバスに同乗されました方に対しては、保健所のほうに届け出ていただいてですね、今後のフォローアップをお願いしたいと考えております。そのようなこともございますので、皆さまの報道の中で、この報道をされるときに、その、ベトナムからの便に、7 月 1 日のベトナム便に同乗されていた方、また、あの、うー、成田から立川のほうへのリムジンバスに同乗されておられた方につきましては最寄りの保健所へご相談をいただきたいというようなことを報道していただくと我々としても非常に助かるところでございます。